

### 若者会議（仮称）

**問** 吉野一夫議員  
施政方針の中に仮称若者会議とあるが、どのような内容か。

**答** 町長  
七ヶ宿に住んでいる若者に七ヶ宿をこんな町にしたいという夢や理想を語ってもらおう。その中から町として政策立案ができるような形も含めて検討していきたい。構成については中学生から20代までを考えており、実際に七ヶ宿に思っているイメージや七ヶ宿はこんなことをすれば変わっていくという思いを語っていただける会議にしたい。

### 空き家対策

**問** 吉野一夫議員  
移住者40人増を目指すとのことだが、空き家対策を最優先に考え、いつでも受け入れ体制をとらなければと思うが、考えを伺う。

**答** 町長  
空き家バンクの登録件数が低調である。空き家の所有者の方の考え方をよく聞き、空き家バンクに登録していただく積極的な利用をしたい。

### プレミアム商品券

**問** 梅津政志議員  
今後プレミアム商品券は町内の商店のみならずミニスーパーでも使えるようになるのか。

**答** 町長  
使用できるようにしていきたい。

### 鳥獣外防止策

**問** 管原研治議員  
南奥羽鳥獣害防止の広域対策が予算化されているが、具体的にはどのような計画なのか。

**答** 町長  
山形、福島、宮城の3県で県境を越えて有害鳥獣対策を行う国直轄の補助事業。それぞれが負担金を出し合いながら運営を行うため財政的にはかなり効率がよい。県境をまたぎながらお互い情報交換をして、有効な駆除対策に努めたい。

**問** 吉田修議員  
具体的にはどのような活動をしていくのか。

**答** 町長  
各自自治体や県境をまたいだりはせず、それぞれの地域の中で防止活動を行う。広域的な部分については研修会や情報交換、新しい防止施設の発表、そういったことが取り組まれる。



## 予算特別委員会

3月13日と14日に特別委員会を開催し、平成29年度一般会計並びに特別会計予算について審議しました。

### 歳入

**問** 町税を前年よりも280万円ほど多く見込んだ理由は。

**答** 前年度までの実績から算出している。法人税については新たな企業も設立されていることから、法人均等割の伸びを見ている。

**問** ダム交付金が年々下がっているが、これ以上は下がらないというラインはあるのか。

**答** 償却資産を毎年償却する関係で減っている。最低ラインは土地の評価額から算定して約6740万円。

**問** 今後町税は伸びない、地方交付税も期待できない中で、財政についてどのように考えているのか。

**答** 基金のなかで町が自由に使える財源が21億円ほど残っている。これを有効活用し、今後は約24億円の水準で当初予算が組まれていくと予想される。

**問** 地方交付税がピークのときから3割ほど減っている。予定されている地方創生事業など、将来その維持管理は可能なのか。

**答** 補助金や過疎債、施設収入等を見込みながらなるべく町の支出を少なくしていきたい。

### 歳出

**問** 町長の説明で宇検村との交流をより深めていきたいという話もあったが、具体的にはどのような内容で進めるのか。

**答** 町民の参加を募った2泊3日の交流や、年間を通しての物産の販売につながるようなツアーなどを考えている。

**問** 地域おこし協力隊の支援業務の内容は。

**答** 28年度から森林組合で1名、林業振興関係で協力隊に業務に携わってもらっている。29年度は商工会でブランド化の推進にかかわる業務で1名の採用を予定している。

**問** 手話の奉仕員の養成講座には、何名が何回ほど受講されたのか伺う。

**答** 入門と基礎の2つの講座に分かれており、それぞれ20回開催される。今参加している方は入門編を1名の方が終了して基礎編に参加している。場所は村田町と角田市で実施する予定。

**問** 雪室PR業務ではどんなPRを考えているのか。

**答** 県主催のイベントなどで雪室のロゴの入ったものを販売するほか、雪室を宣伝する動画を流す計画を考えている。

